

博報堂生活総合研究所「未来ランキング調査」結果発表

生活者3,000人に聞いた2015年の未来観は？

～未来予測の情報から生活者の意識を調査～

“是非そうなって欲しい”未来の1位は、「電気自動車の普及」70.4%。

“そうなって欲しくない”未来の1位は、「ニート人口の増加」86.6%。

男女の未来観：男性は“テクノロジー”“宇宙”、女性は“社会問題”“医療”。

博報堂生活総合研究所では、未来予測関連で公表された記事・レポートから「2015年に〇〇になる」といった情報を選択し、関心度（非常に関心あり）・願望度（是非そうなって欲しい）・拒否度（そうなって欲しくない）の3つの指標で、10代～60代の男女3,444人に評価してもらう「未来ランキング調査」を行いましたので、その結果を発表いたします。

【要旨】

【全体の未来観】“環境対策・環境行動への希望”、“少子高齢化による人口減衰への畏怖”が特徴。

■ 消費税の増税は老若男女で最大の関心事。未来への関心は様々な分野へ分散。

関心度（非常に関心あり）1位は「消費税率17%へ」（62.9%）。トップ10は、経済、環境、医療、交通など様々な分野に渡っており、未来の関心事は分散傾向にあることが分かりました。

■ 未来への願望は環境対策が上位。技術革新による環境行動へ期待が顕著。

願望度（是非そうなって欲しい）1位は「電気自動車が軽自動車なみの維持費を実現」（70.4%）。その他にも、車両りサイクル、ハイブリッド車、風力発電、排ガス規制など環境対策への希望がトップ10のうち6項目を占めました。

■ 人口減少への畏怖。労働力不足や少子高齢化が引き起こす未来の問題を回避したい現代人。

拒否度（そうなって欲しくない）については、1位の「ニート人口が全国で137万人に達する」（86.6%）を筆頭に、フリーター、認知症の高齢者増加、農業人口の減少と高齢化など、労働力や少子高齢化に関わる事象がトップ10のうち8項目となりました。

【男女別の未来観】男性は“テクノロジー”“宇宙”へ、女性は“社会問題”“暮らしの医療”へ関心・願望が高い。

■ 男性は、「知能ロボットの実用化」などテクノロジー関連の関心が高く、さらに「宇宙船の有人飛行が成功」「月の資源調査を開始」など、若い世代を中心に宇宙への関心・願望が高くなりました。

■ 女性では、「自殺者の減少」「貧困者の半減」などの社会問題や、「アレルギー疾患」や「認知症の高齢者増加」など暮らしに関わる医療問題への意識が高い傾向が見られました。

■ 男女で意見が全く異なった未来事象は「道州制導入」で、女性の拒否が非常に高くあらわれました。

【年代別の未来観】ユビキタス社会を期待する若者、地球環境の悪化を苦慮するエルダー。

■ 10代・20代は、「携帯電話の圏外がなくなる」「地球上のすべての村でインターネット利用可能」などユビキタス社会への願望が他の年代よりも高くなりました。また少子高齢化への意識は低く自分事として捉えていないようです。

■ 40代・50代・60代では、「世界のエネルギー需要増加」への拒否、「不毛な土壌を改良」への願望など地球環境への高い意識が特徴的にあらわれました。

－ 2015 年 未来ランキング－

■ 関心度 (非常に関心あり) ランキング トップ 10 [全体]

消費税の増税は老若男女で最大の関心事。未来への関心は様々な分野へ分散。

関心度ランキング 1 位は「消費税率 17% へ」(62.9%)。トップ 10 は、経済、環境、医療、交通など様々な分野に渡り、未来の関心事は分散傾向にあることが分かりました。

未来事象 [分野]	全体	男性	女性
1 位 消費税率が 17% になる [経済]	62.9	59.8	66.0
2 位 日本の電気自動車が軽自動車なみの維持費を実現する [交通]	58.5	58.8	58.2
3 位 地球温暖化による海水面の上昇で、この年までに東京、大阪、神戸を含む世界の 21 都市が危険におちいる [環境]	57.3	53.3	61.3
4 位 日本で 75 歳未満のがんによる死亡率が、2005 年比で 20% 減少する [医療]	51.4	47.1	55.7
5 位 日本の自動車メーカーが、製造販売するクルマによる死亡事故、負傷事故の半減を実現する (1995 年比) [交通]	50.6	47.4	53.8
6 位 有望な科学分野に集中投資する政府の計画により、アレルギー疾患が克服される [医療]	49.3	43.8	54.9
7 位 少子高齢化に歯止めがかからず、国民医療費が 53 兆 9889 億円 (自己負担分 11 兆 6703 億円) となる [医療]	48.6	44.7	52.6
8 位 自動車のリサイクルが進み、車両の 95% がリサイクル可能になる [環境]	48.1	46.2	50.1
9 位 この年までに世界で生産されるハイブリッド車の過半数を日本車が占める [交通]	46.5	47.9	45.2
10 位 ETC や走行支援システムの普及で高速道路での渋滞が 7 割解消する [交通]	46.1	47.2	45.1

単位：%

■ 願望度 (是非そうなって欲しい) ランキング トップ 10 [全体]

未来への願望は環境対策が上位。技術革新による環境行動への期待が顕著。

願望度ランキング 1 位は「電気自動車が軽自動車なみの維持費を実現」(70.4%)。その他にも、車両リサイクル、ハイブリッド車、風力発電、排ガス規制など環境対策への希望がトップ 10 のうち 6 項目を占めました。

未来事象 [分野]	全体	男性	女性
1 位 日本の電気自動車が軽自動車なみの維持費を実現する [交通]	70.4	69.4	71.5
2 位 日本の自動車メーカーが、製造販売するクルマによる死亡事故、負傷事故の半減を実現する (1995 年比) [交通]	68.3	65.0	71.6
3 位 ETC や走行支援システムの普及で高速道路での渋滞が 7 割解消する [交通]	66.3	65.0	67.5
4 位 日本で 75 歳未満のがんによる死亡率が、2005 年比で 20% 減少する [医療]	63.6	61.0	66.3
5 位 有望な科学分野に集中投資する政府の計画により、アレルギー疾患が克服される [医療]	62.3	56.6	68.1
6 位 自動車のリサイクルが進み、車両の 95% がリサイクル可能になる [環境]	60.5	57.8	63.2
7 位 2015 年までに世界で生産されるハイブリッド車の過半数を日本車が占める [交通]	57.2	56.1	58.2
8 位 ICT (Information and Communication Technology) 製品の生分解性化やリサイクル化が向上し、リサイクル回収率 100% を達成 [環境]	53.9	52.0	55.9
9 位 風力発電機の世界市場が、5600 万キロワットに拡大する [資源]	53.6	56.9	50.3
10 位 厳しい排ガス規制により 2000 年との比較で窒素酸化物 (Nox) が 1/3、粒子状物質 (PM) が 1/15 に激減する [環境]	52.4	53.1	51.7

単位：%

■ 拒否度 (そうなって欲しくない) ランキング トップ 10 [全体]

人口減少への畏怖。労働力不足や少子高齢化が引き起こす未来の問題を回避したい現代人。

拒否度ランキング 1 位の「ニート人口が全国で 137 万人に達する」(86.6%) を筆頭に、フリーター、認知症の高齢者増加、農業人口の減少と高齢化など、労働力や少子高齢化に関わる事象がトップ 10 のうち 8 項目となりました。

未来事象 [分野]	全体	男性	女性
1 位 働かず職業訓練も受けないニート人口が全国で 137 万人に達する [社会]	86.6	83.6	89.7
2 位 認知症で介護や支援を必要とする高齢者の数が、全国で 250 万人に達する (2002 年が 150 万人) [人口]	85.6	81.6	89.7
3 位 消費税率が 17% になる [経済]	84.3	81.7	86.9
4 位 日本の高齢化率が 26.0% に達する [人口]	83.7	80.8	86.5
5 位 地球温暖化による海水面の上昇で、この年までに東京、大阪、神戸を含む世界の 21 都市が危険におちいる [環境]	81.8	79.0	84.7
6 位 一人暮らしの高齢者の数が全国で 566 万人に達し、女性の高齢者の 5 人に 1 人が「ひとり」になる [人口]	81.1	76.7	85.4
7 位 働く意思がありながらも定職に着かないフリーター人口が全国で 461 万人に達し、労働力人口の 3 割に迫る [人口]	79.7	76.0	83.4
8 位 日本の農業人口が 146 万人に減り、そのうち 6 割が 65 歳以上になる [経済]	78.3	74.3	82.2
9 位 貯蓄を取り崩す高齢者、低賃金で働くパート労働の増加により、日本人の家計貯蓄率が 3.4% に低下する [経済]	76.9	72.9	81.0
10 位 少子高齢化に歯止めがかからず、国民医療費が 53 兆 9889 億円 (自己負担分 11 兆 6703 億円) となる [医療]	76.1	73.5	78.7

単位：%

男女の未来観比較

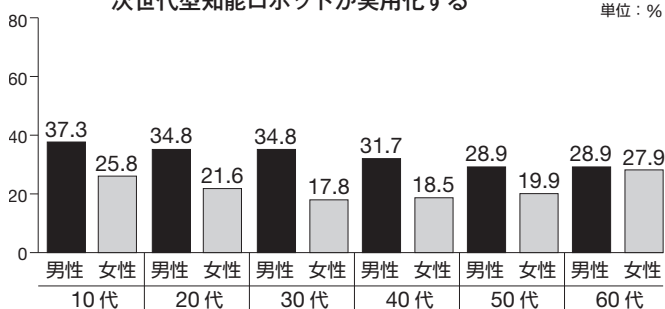
■ 未来への関心・願望・拒否度は、男性より女性の方がより鮮明に。

関心度（非常に関心あり）・願望度（是非そうなって欲しい）・拒否度（そうなって欲しくない）の3指標とも、女性の方が多くの項目において高いパーセンテージを示しました（2P参照）。特に社会問題に関する項目でこの傾向は高く、未来への主導権を握るのは女性であることを示唆しているのかもしれない。

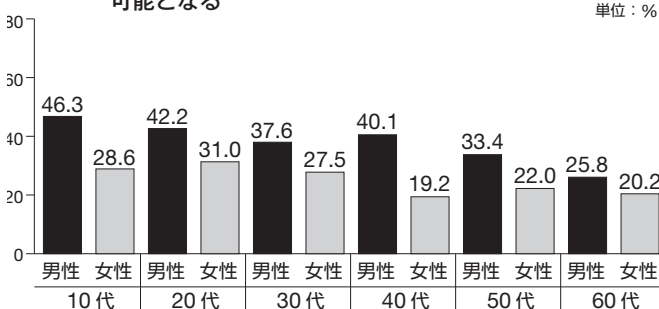
■ いくつになっても未来への夢が多い男性。“テクノロジー”や“宇宙”への関心・願望が女性よりも高い傾向に。

男性では、「次世代型知能ロボットが実用化」（関心：男性 32.8%・女性 21.9%、願望：男性 31.9%・女性 22.8%）、「新幹線や旅客機での高速通信が可能となる」（関心：男性 32.1%・女性 21.2%、願望：男性 37.6%・女性 24.7%）など、テクノロジーに関する事象や、「国産の無人探査機が月の資源調査を開始」（関心：男性 29.4%・女性 17.2%、願望：男性 28.1%・女性 15.0%）、「米国が新型宇宙船の有人飛行に成功」（関心：男性 24.7%・女性 13.9%、願望：男性 22.2%・女性 11.4%）など、宇宙に関する未来事象で女性よりも高い意識があらわれました。 ※（ ）内はすべて男性全体・女性全体の数値、以下同じ。

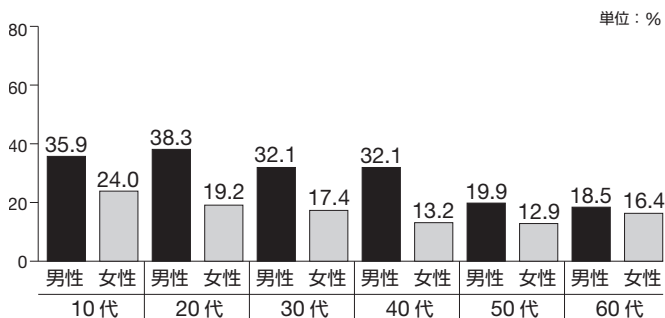
【関心度】 政府の開発支援により周囲の状況を判断して動く次世代型知能ロボットが実用化する



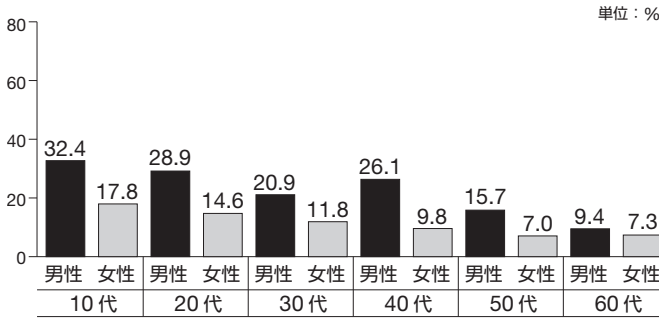
【願望度】 新幹線や旅客機での高速通信（最大毎秒 100 MB）が可能となる



【関心度】 国産の無人探査機が月の資源調査を開始する



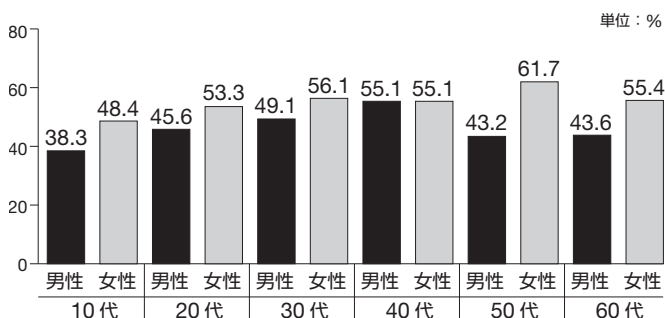
【願望度】 米国が新型宇宙船の有人飛行に成功する



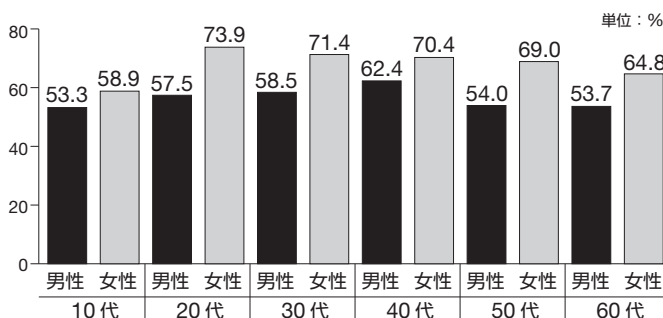
■ 現実志向の女性たち。“社会問題”や“暮らしの医療”への関心・願望が男性よりも高い傾向に。

女性では、「自殺者が国や地方の取り組みで減少」（関心：男性 26.2%・女性 33.8%、願望：男性 45.8%・女性 55.0%）、「極度の貧困にあえぐ人が半減」（関心：男性 30.9%・女性 38.3%、願望：男性 48.1%・女性 55.3%）などの社会問題や、「女性の高齢者の5人に1人が『ひとり』になる」（関心：男性 27.1%・女性 43.0%）、「女性の労働人口が25万人増加する」（関心：男性 21.6%・女性 36.2%、願望：男性 13.9%・女性 21.7%）など女性と社会の関わりに関して、高い意識がみられました。また、「認知症で介護を必要とする高齢者が増加」（関心：男性 33.7%・女性 45.7%）、「科学分野への投資でアレルギー疾患が克服される」（関心：男性 43.8%・女性 54.9%、願望：男 56.6%・女 68.1%）など暮らしに関連する医療の問題は、女性のほうが男性より敏感に意識していることがわかりました。

【願望度】 毎年3万人を超える自殺者の数が、国と地方の取り組みにより年間2万5千人に減少する



【願望度】 有望な科学分野に投資する政府の計画により、アレルギー疾患が克服される

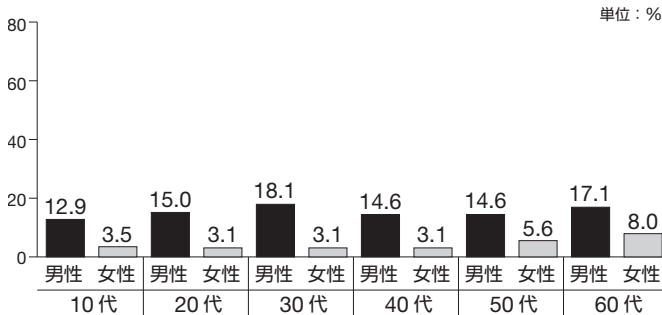


■ 男女で価値観が異なる「道州制の導入」。男性は願望、女性は拒否。

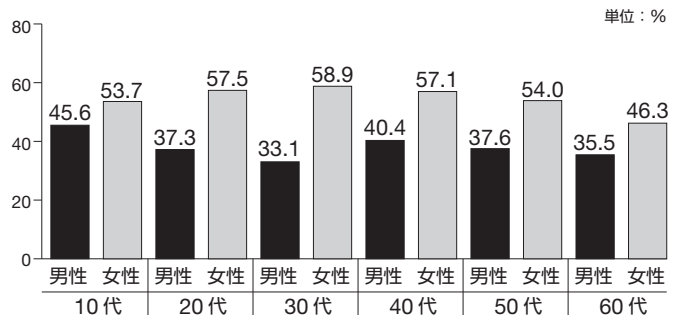
「日本を10-11に再区割する道州制が導入される」（願望：男性15.4%、女性4.4%、拒否：男性38.3%、女性54.6%）で男性は願望、女性は拒否の意識が強くなっています。特に、その差は20代・30代でより大きくなっています。

「日本を10-11に再区割する道州制が導入される」

【願望度】



【拒否度】



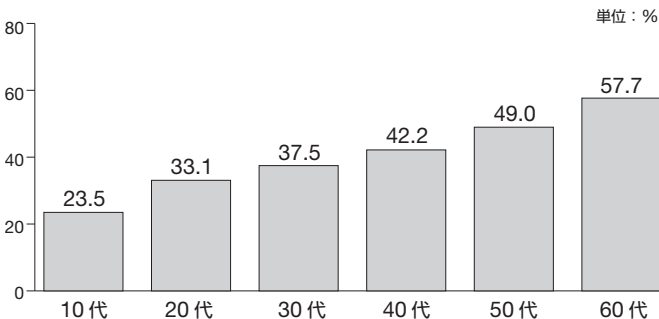
一 年代間比較

■ 「少子高齢化」をまだまだ自分事として捉えていない若者。カジノへの拒否度が強いシニア層。

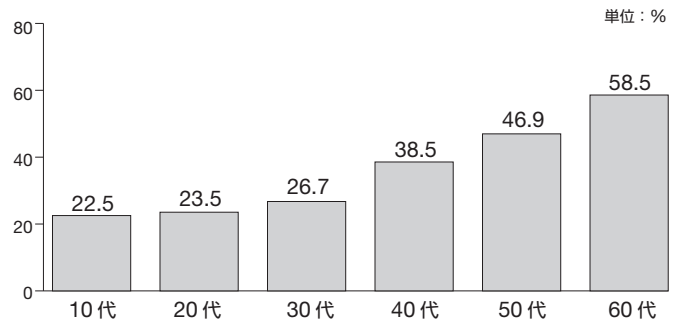
年代間での大きな特徴は、少子高齢化に関する関心度で大きくあらわれました。「介護給付費拡大で若い世代への負担を求める議論活発化」、「認知症の高齢者の増加」、「少子高齢化で国民医療費が増加」などは、高齢になるほど関心度が高くなる傾向がみられました。

また年代間で拒否度の差が一番大きかったのは、「カジノを開設したシンガポールが観光客で賑わう」。10代22.5%から年代と比例して拒否度が上がり、60代では「そうなって欲しくない」人が58.5%と過半数を超えました。

【関心度】 高齢化が進んで介護給付費が10兆円規模に拡大。65歳以上の保険料負担が増し、(40歳未満の)若い世代に保険料負担を求める議論が活発化する



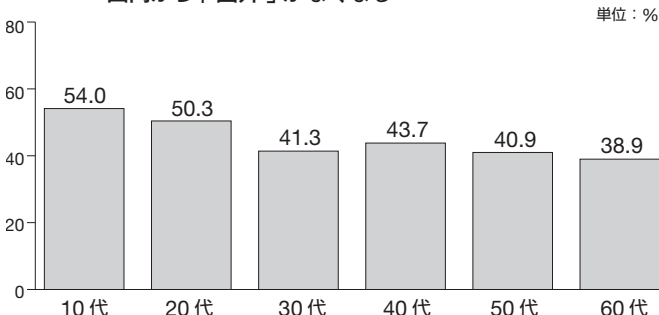
【拒否度】 カジノを開設(2009年)したシンガポールが年間1,700万人の観光客で賑わう



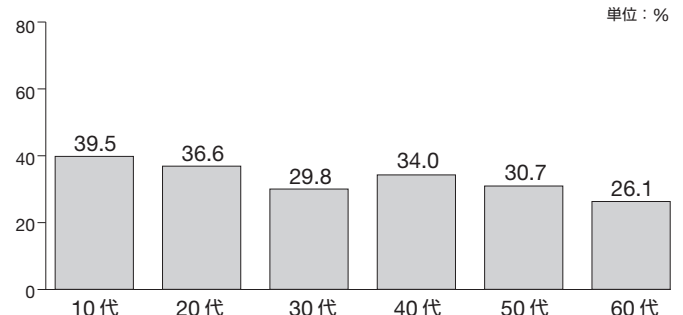
■ インターネット、携帯電話…。ユビキタス社会を期待する若者層。

「携帯電話の圏外がなくなる」への願望度は10代・20代で、50代・60代に10ポイント程度の差をつけて上回りました。「地球上のすべての村でインターネット利用可能」でも同様の傾向が更に強くなり、ユビキタス社会への若年層の願望が強くなりました。

【願望度】 携帯電話の基地局(静止)衛星が、日本上空で運用開始。国内から「圏外」がなくなる



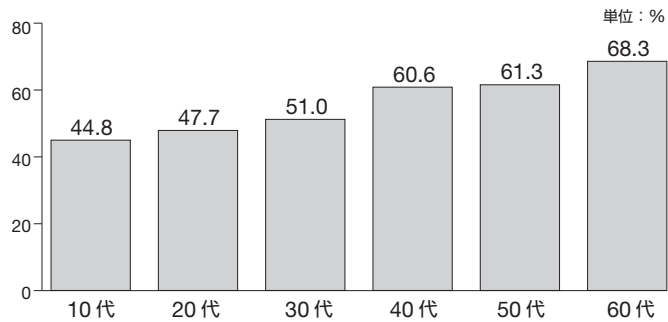
【願望度】 地球上のすべての村でインターネットが利用可能になる



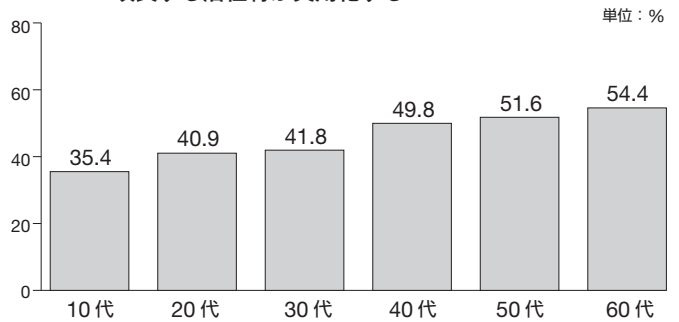
■ 地球環境の悪化を苦慮し、環境行動へ高い期待を寄せるエルダー層。

40代・50代・60代では地球環境への高い意識が特徴的にあらわれており、「世界のエネルギー需要増加」への拒否が6割を超え、「不毛な土壌を改良」への願望も5割前後で、若年層と10～20ポイントの開きがありました。

【拒否度】世界のエネルギー需要が2006年水準より25%増加する



【願望度】鉄鋼加工くずの再利用でアルカリ性の不毛な土壌を改良する活性材が実用化する



【調査設計】

- 調査時期 2007年12月15日～18日
- 調査対象 全国の15歳から69歳までの男女
- 調査方法 インターネット調査
- サンプル数 3,444 サンプル (有効回収数)
- 調査手順

- ① 2007年11月時点で、2015年についての未来予測関連の公表記事・レポートから54の未来事象を選択。
- ② ①の未来事象を、関心度(非常に関心あり)、願望度(是非そうなって欲しい)、拒否度(そうなって欲しくない)の3つの指標で評価。

年代	男性	女性
15～19歳	287人	287人
20～29歳	287人	287人
30～39歳	287人	287人
40～49歳	287人	287人
50～59歳	287人	287人
60～69歳	287人	287人
合計	1,722人	1,722人